



## 2018年5月19日 不老山(928m)

kumamoto

サンショウバラの鑑賞を主目的として6月初旬に開花する西丹沢の「不老山(928m)」を企画した。今年は4月5月が例年になく暖かく夏日も多く、開花が相当早まるだろうと予想し、5月19日に設定した。参加者は布目さん、岡部さん、小野寺さん、吉松さん、堀さん、池戸さん、熊本の7名。前線通過で19日にするか20日に順延するかで悩んだが、19日早朝に雨雲が東海上に抜ける予報で、予定通り19日に決行した。

サンショウバラはバラ科バラ属の落葉小高木で別名 箱根バラとも言われ、葉が山椒の葉に似ておりサンショウバラと名付けられた。富士箱根地区に分布し山地に育成する珍しい木。今回の行程は駿河小山からバスで標高約900mの明神峠まで上がり、そこからスタートし、最高点の湯船山(1041m)から世附峠(よづく : 715m)まで下り、928mの不老山に登り返し、西丹沢の山市場バス停に下る。行程地図を下記に添付した。



御殿場線 駿河小山8:30に集合し、8:45発の明神峠行のバスに乗る。

5分程走り山に入り始めると、濃いガスに包まれて視界が悪くなる



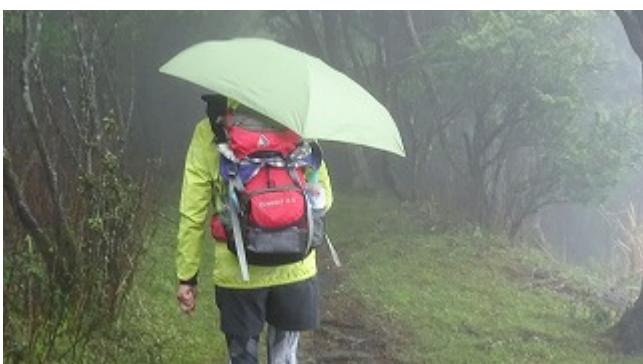
9:10 明神峠（900m）に到着したが視界は数mしかない。近くにアカバネウツギ（タニウツギ）が満開。



濃霧の中、ストレッチで体を解し登山準備



9:18 世附峠への標識に従って登山開始。



明神峠は既に標高 900m あり、登り口から数分直登すると平坦な尾根道となった。視界は悪い。



数分歩くと、「サンショウバラ大木あり（開花 6月上旬）、湯船山へ 45 分」の標識が現れた。（9:24）



更に 2, 3 分進むとサンショウバラの木が現れた。しかし花は咲いていない。誰かが「蕾が一杯ついていて花はこれからだ」と云ったが、帰宅後調べたら、これは蕾ではなく、「硬い棘がある果実」だった（ウヰペディアから）。 従って花はこれからではなく、散った後だったかもしれない。

皆は、「今日は花を見ることが出来ないのか？」と不安げだったが、吉松さん、熊本は見れるはずだと・・



花がなく、少々ガッカリしながら、見通しの悪い濃霧のなかを進むと・・



ヤマツツジが咲いていてホワイトアウトの中で赤く綺麗だった。（9:40）

更に 2, 3 分進むと、またまた、ヤマツツジが現れ目を楽しませてくれた。



三国山～明神峠～湯船山の形をした標識が現れた



明神峠登山開始から約 40 分で、本日の最高点 1041m の湯船山に到着し、ここで最初の休憩。



岡部さん、池戸さん、布目さんから、ブドウやお菓子の差し入れがあり、これで元気が出た。



湯船山から次の世附峠（715m）まで 3.7km、標高差約 330m を下る。不老山まで 4.9km とまだ遠い。



この辺りはブナの原生林となり暫く進むと、先頭にいる岡部さんがギターと悲鳴を上げた。  
何事が起きたかと、近づいたらカエルを踏みそうになったとか。人騒がせな！



暫く進むと道が怪しくなって、  
どうもハッキリとした踏跡が無くなってきた。  
「迷ったら戻る」の鉄則に従い、  
赤い印のある登山道迄戻った。



どうやら、直角に左折するあの道が正しそうだ！  
標識がないため、何の疑いもなく直進していたのだ。  
しかし、正しい登山道は左折するのだが、何の標識もなく全く不親切であり、これからも迷う人が多く出るだろう。



左折して5分ほどで「白くらの頭」の標識があり、この道が正しかったと一安心する。  
まだ、世附峠まで2.8kmあり、遠い (10:35)



近くに大きなヤマザクラの木があった。



ブナの大木にしがみつき、水音が聞こえる？

更に下りが延々と続き・・



11:20 歩き始めて2時間経過し、世附峠に近づき、サンショウバラの木が出てきた。  
しかし、花がついていない。 ガッカリしてそのまま通り過ぎ・・・



振り返ってみると、何とサンショウバラの蕾の開きかけた花と、開花した花があった。  
サンショウバラとの最初の出会いで、全員、「アッター！」と歓声をあげた。



更に先に進むと、次々とサンショウバラが現れてきた。





写真を撮りまくる。



近くにはノリウツギやフジの花も咲いていた。



サンショウバラの木の前で記念の一枚 (11:36)



この開けた処は「サンショウバラの丘」だった。　昼食にはまだ早く世附峠へと進む。



11:45 下り切って鞍部の世附峠(715m)に到着したが、昼食を取る適当な場所がなく、不老山に向かう。ここから不老山山頂 (928m) は標高 200m の登りだ。



12:18 928m の不老山山頂に到着し、早速、昼食にする。



昼食後、山頂での記念写真を撮り、下山に入る。(12:55)



山頂から山市場までの 4.7Km は、急坂の連続で足腰がガタガタになる



足が棒になるも、我慢、我慢！　で更に下る。



急下りの連続を耐え忍び、山頂から 2 時間掛かって里に着いてホッとする。(14:45)



15:15 のバスまで 20 分あり、しばし休憩。

バスで新松田まで戻り、小田急で鶴巻温泉に向かう。兎に角、今日は大汗をかいた。



弘法の里湯で汗を流し、約 90 分ノンビリ休憩して



鶴巻温泉から新宿行の急行に乗り、帰路に着く。

今日の山行は終日、濃霧の中での歩きで、展望は全くダメだったが、目的はサンショウバラの鑑賞であり、世附峠直前の「サンショウバラの丘」付近にはサンショウバラが多数咲いて目を楽しませてくれ、大満足の山旅となりました。 皆様、お疲れ様でした。